

# 通水前最後となる工事現場の一般開放を行いました 〈大河津可動堰改築事業〉

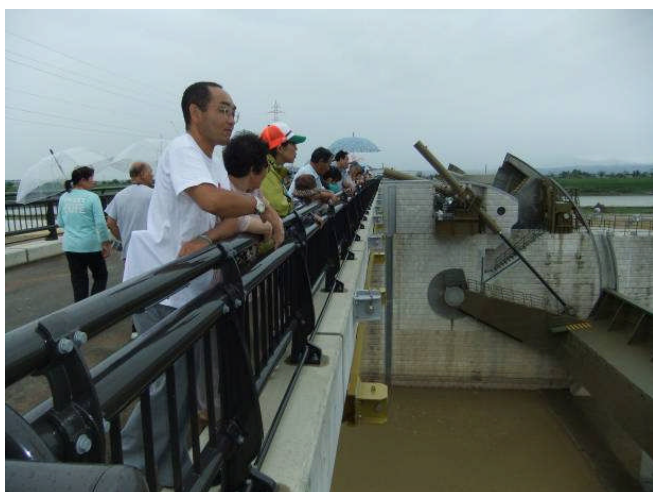
- ◆ 8月21日（日）、今年11月に予定されている新可動堰への通水前では最後となる、大河津可動堰改築工事現場の一般開放を行いました。
- ◆ 前回は5月29日に開催しましたが、多くの方々から再度の開催を望む声が寄せられたことから、今年2回目の開催となりました。
- ◆ 現場では、開催直前に発生した7月の新潟・福島豪雨による洪水で護岸等が被災したほか、現場内が冠水し大量の土砂で埋まるなど大きな被害を受けましたが、当日まで排水作業や土砂撤去等を進め、開催準備を整えました。



通水後は川底となる場所にも入場いただきました



川底から巨大なゲートを見上げる方々



管理橋から現場内を眺める方々



- ◆ 当日は小雨模様となったものの、地元の燕、長岡、新潟、三条をはじめ、東京や京都などの遠方の方々を含め、約2,000名が訪れました。
- ◆ 訪れた方々は、管理橋から日本最大級のラジアルゲートの動作試験の様子をカメラに収めていたほか、通水前の川底に降りられる最後のチャンスとあって、巨大な堰の柱近くまで足を運ばれ、スケールの大きさに驚いた様子でした。
- ◆ また大河津分水路や可動堰工事の概要、新潟・福島豪雨に関するパネル展示会場では多くの方々が足を止め、担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。



管理橋とテント内で、大河津分水路の歴史や役割、可動堰工事の概要をパネルによりご説明しました



管理橋はたくさんの方で賑わいました



洪水による被災箇所の説明に耳を傾ける方々



魚道付近から管理橋を見上げる方々



河川敷の臨時駐車場は開始後まもなく満車に...

## ■訪れた方々の声（アンケートより）

- ★大河津分水のおかげで新潟市が助かっていることを知った。
- ★大河津分水の必要性がわかった。
- ★新潟・福島豪雨の水の状況等もあり可動堰の重要度が感じられた。現在の機械力での工事のすごさを感じた。
- ★新潟・福島豪雨の後だったので、洪水の恐ろしさを感じるとともに洗堰、可動堰の有難さを知った。
- ★実際に堰が動いている様子を見られて良かった。ゲートの大きさに驚いた。
- ★川底を歩いて良かった。一生の思い出になった。